

日誌

日誌 06月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	会議
		会議
	10:00	プレOTC
		プレOTC
	11:00	調剤
		服薬指導
	12:00	薬歴
		休憩
	13:00	休憩
		調剤
	14:00	服薬指導
		薬歴
	15:00	調剤
		調剤
	16:00	薬歴
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (1)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

プレOTC対応を実施した。咳を止めたく、翌日にプレゼンテーションを控えている患者さんを想定した症例に取り組んだ。指導薬剤師の方からは、新コンタックせき止め液ダブルアタック100mL、ピタスせきトローチ、クールワン去たんソフトカプセルの3つの中から、この患者さんに最も適した商品を提案するよう求められた。クールワン去たんソフトカプセルには去痰薬であるカルボシステインが含まれており、咳そのものを止めたいという訴えには応えられないと考えられる。一方で、ピタスせきトローチには鎮咳薬であるデキストロメトルファンが含まれており、咳を抑える効果が期待できる。対照的に、新コンタックせき止め液ダブルアタック100mLにはデキストロメトルファンに加えて去痰薬であるグアイフェネシンも含まれており、鎮咳と去痰の両方が揃っている。患者さんは翌日にプレゼンテーションを控えており、咳を止めたいという要望があるため、新コンタックを提案するのが最適であると考えられた。

服薬指導では、2人の患者さんを担当した。1人目は不眠の患者さんだった。別の病院よりデュロキセチンを夕食後に服用と処方されていた。前回、朝食後への変更の提案をしていたことから、その後の経過を確認する必要があった。お薬手帳を確認すると、変更されていたので、指導薬剤師の方より、その後の様子について伺うよう教えていただいた。2人目は喘息の患者さんだった。その患者さんにとって、実習先の薬局では初めて処方される薬（カルボシステイン、テオフィリン、デキストロメトルファン）だったので、用法用量や効果について伝えた。また、アドエアも処方されており、その使い方を説明した。

キャベジンの副作用として、便秘がある。
ピレノキシンが処方されていた。ピレノキシンは白内障の治療薬である。

日誌

日誌 06月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月16日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>アドエアの使用方法を患者さんに説明する際に、これまで使用経験があるかどうかを確認できなかった。使用経験の有無を確認することで説明の内容を調整できた。次回以降は、使用経験を確認する。また、使用方法の説明に関しては、もう少し補足できる点があるため、復習する。</p> <p>デュロキセチンの半減期と最高血中濃度到達時間や、躁病の判断基準について確認する。</p> <p>プロチゾラム、ピレノキシンについて添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>アドエアの服薬指導は初めてにしては良かったと思います！さらに良いを目指して、どんなことができるか考えてみてくださいね。</p> <p>躁はどうでした？ちょっと気になるんですよ。デュロキセチン由来だとするとなんだか、、、</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		概略評価
	11:00	概略評価
		概略評価
	12:00	概略評価
		休憩
	13:00	休憩
		休憩
	14:00	概略評価
		概略評価
	15:00	調剤
		調剤
	16:00	調剤
		糖尿病治療薬
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

調剤について、軟膏と一包化を実施した。
軟膏では、キンダベート軟膏0.05%とヘパリン類似物質油性クリーム0.3%をそれぞれ50gずつ混合し、計100gを調剤した。混合前には、それぞれの薬剤が混合可能であることを確認した。軟膏板上で混ぜ合わせる際、量が多かったため、均一に混合するのに大変だったが、軟膏ヘラによる混合のコツを学んだ。混合後は、軟膏壺に充填する手技についても確認した。
一包化では、ウルソデオキシコール酸錠100mg、フェブキソスタット錠10mg、リフキシマ錠200mg、ニフェジピンCR錠20mg、アジルサルタン錠20mg、リオナ錠250mgが処方されていた。
腎瘻洗浄用として処方された生理食塩液について確認した。処方箋には、「腎瘻洗浄用」の記載があり、製品は広口開栓型のものだった。腎瘻とは、背中から腎臓へチューブ（カテーテル）を挿入し、尿を体外に排出させる処置であり、今回の処方はその洗浄用としての使用であることを学んだ。
ヘルプカードについて教えていただいた。ヘルプカードは、外見ではわかりにくい障害や病気がある方が、周囲の理解や支援を求めやすくするためのものであると学んだ。
到達度評価のフィードバックをしていただいた。1回目の評価日より、少しずつ成長しているのを実感した。レベルの高い服薬指導をするために、まだまだ学べることがあった。

日誌

日誌 06月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月17日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>軟膏を実施したが、量が多かったこともあり、混合の仕方に不慣れであり、もっと経験を積む必要があると感じた。</p> <p>ウルソデオキシコール酸錠100mg、リフキシマ錠200mg、リオナ錠250mgの添付文書や患者向け医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法・用量、使用上の注意などについて確認する。</p> <p>糖尿病の治療薬について、全体図をイメージしながら、まずは薬とその作用機序を整理していく。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>技術については、『Practice makes perfect』と言われます。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.7 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	在宅
		調剤
	14:00	調剤
		調剤
	15:00	調剤
		調剤
	16:00	麻薬
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(2)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

がん患者さんのピッキングを行った。処方内容は、アプレピタントカプセルセット、デカドロン錠4mg、ロペラミド塩酸塩カプセル1mgであった。化学療法開始前にアプレピタントの125mgを、治療日の翌日に80mgを服用するよう記載されていた。添付文書を確認したところ、アプレピタンは、NK1受容体拮抗薬であり、化学療法による遅発性の悪心・嘔吐の予防に用いられる。デカドロンは副腎皮質ステロイドであった。ロペラミドは下痢止めであった。

一包化を実施した患者さんで、ジャヌビア錠50mgが処方されていた。ジャヌビアはDPP-4阻害薬で、2型糖尿病に用いられる。ジャヌビアは腎排泄型であるため、腎機能の確認を行った。患者さんのクレアチニンクリアランスを計算した。ジャヌビア錠50mgでDPP-4阻害活性は、約85%であり、用量を100mgに増量しても、阻害活性が2倍にはならない。用量を増やしても効果が大きく増しにくい薬もあることを学んだ。

在宅訪問を実施した。その患者さんはプレドニン錠5mgを服用していた。前回の訪問から今回までの間に、患者さんは胃潰瘍と診断された。胃潰瘍の原因として、ヘリコバクター・ピロリ菌や、NSAIDsやステロイドの使用である。。NSAIDsよりステロイドの方が高頻度で胃潰瘍が起きやすい。プレドニン錠5mgにより胃潰瘍が生じた可能性があると考えられる。

麻薬処方箋を見せていただいた。麻薬処方箋には、麻薬施用者の氏名および免許証番号、患者の住所を記載する必要がある。調剤前に麻薬を廃棄する場合は、麻薬廃棄届を事前に知事へ提出して、職員の立ち会いのもとで廃棄を行う。調剤後の麻薬を廃棄する場合には、調剤済麻薬廃棄届を廃棄30日以内に知事へ提出する。

日誌

日誌 06月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月18日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>麻薬の保管や廃棄の方法は、国家試験でもよく出題されやすいと教えていただいたため、内容が複雑にならないように整理して復習したい。以前の実習中に麻薬に該当する医薬品について教えていただいたが、すぐに名前を思い出せなかったため、繰り返し確認する。</p> <p>アプレピタントカプセルセット、デカドロン錠、ロペラミド塩酸塩カプセル、ジャヌビア錠について、添付文書や患者向医薬品ガイド(該当があれば)、今日の治療薬より、適応、用法・用量、使用上の注意などについて確認する。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>レジメンの公開は比較的好く行われている情報提供だと思います。ただそれだけでは連携にはならないんですね。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	OTC発注検討
		OTC発注検討
	10:00	服薬指導
		薬歴入力
	11:00	受付・調剤
		服薬指導
	12:00	薬歴入力
		休憩
	13:00	休憩
		会議
	14:00	電話見学
		薬歴
	15:00	薬歴
		受付
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(3)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 06月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

指導薬剤師の方から、ハップ剤やテープ剤の商品を充実させたいので、どのような商品を発注すべきか考えるよう指示を受けた。商品を選ぶ際は、効果だけでなく、価格や枚数といったコスト面も重要な要素であると教えていただいた。どのような商品が実際によく使用されているかについて、インターネットで調査を行ったが、現時点では具体的な商品はまだ決定しておらず、今後も継続して検討していく予定である。

1件目は高血圧の患者さんを担当した。テラムロ配合錠BPが処方されていた。前回の処方日数から逆算すると、服用していない期間があると考えられたため、患者さんに服薬状況を確認した。実際にはコンプライアンスが低下していると考えられた。薬を服用していないことよりも、高血圧の治療の効果が不明である点が問題であると教えていただいた。また、以前処方されていたアスパラカリウムが途中で削除になっていた背景として、テラムロに含まれるテルミサルタンによるカリウム保持作用との重複によって、高カリウム血症のリスクが高まるためではないかと考えられた。テルミサルタンはアンジオテンシン受容体拮抗薬である。AT1受容体を阻害し、アンジオテンシンIIの作用が阻害され、アルドステロンの分泌が抑制され、腎臓からのカリウム排泄が低下し、血中のカリウムが多くなる。

眼科を受診した患者さんの服薬指導を担当した。ネオメドロールEE軟膏、ヒアルロン酸Na点眼液0.1%、ミケルナ配合点眼液が処方されていた。代理の方が来局されたため、本人の状態について確認した。

レバミピド懸濁性点眼液2%について、点眼後に白く濁ることや、後味として苦味を感じることがあると教えていただいた。

以前より、患者さんの待ち時間中に簡単な会話を交わした。

日誌

日誌 06月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月19日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	テープ剤とハップ剤について検討する作業は楽しく感じた。今後も時間があるときに引き続き情報収集を行い、実際にどの商品を発注すべきか考えていきたい。 。 今回の服薬指導では、高血圧の患者さんに対して、血圧の数値を確認すべき場面で聞き忘れてしまった。患者さんとの話に集中するあまり、聞きそびれてしまい、薬歴を入力している最中にそのことに気づいた。服薬指導中に対応できるよう意識していきたい。 点眼剤については、それぞれの薬の特徴や作用について理解が不十分なため、服薬指導を通して関わる中で、その都度知識を吸収していきたい。
添付資料	
薬剤師のコメント	OTCの商品を理解するためには、いくつかの方法がありますが、その1つに販売する商品を自分で揃えると言う事が比較的学びやすいかとも思いやっていただきました。時間ある時に続きをやってみてください。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.8 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	処方監査
		処方監査
	10:00	服薬指導
		薬歴
	11:00	薬歴
		薬歴
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	自習
		会議
	14:00	服薬指導
		薬歴
	15:00	受付
		講義
	16:00	日誌
		日誌
17:00		
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

小児の服薬指導を担当した。処方内容は、クラリスロマイシン錠50mg小児用、デキストロメトルフアン臭化水素酸塩錠15mg、カルボシステイン錠250mg、カロナール錠300mg、ツロブテロールテープ2mgであった。ツロブテロールの添付文書を確認したところ、0.5～3歳未満には0.5mg、3～9歳未満には1mg、9歳以上には2mgと記載されていた。今回の患者さんは3?9歳未満に該当したため、当初は1mgが適切ではないかと考えた。しかし、実際には年齢だけでなく、体重も判断基準であると教えていただいた。1mgは体重20kgを想定しており、2mgは40kgと相当する。今回の患者さんは20kg以上40kg未満であったため、2mgではやや過量となると可能性がある。服薬指導の際には、ツロブテロールが標準よりやや多めであること、副作用として頻脈などが出現する可能性があることを保護者へ説明した。また、工夫として、テープを4分の3にカットして使用方法があることを教えていただいた。

小児の風邪に対して抗生物質が処方されるケースが多い。生後2歳までに抗菌薬の使用歴があると、5歳時にアレルギー疾患の発症リスクが高まるという結果があることを教えていただいた。薬剤師として、抗生物質の使用理由や目的について保護者に確認することも責任であると学んだ。

乳がんの患者さんの服薬指導を担当した。処方薬はアナストロゾール錠1mgであり、この薬は閉経後乳がんの治療に用いられるアロマターゼ阻害薬である。乳がんの好発部位は乳房の外側上部であり、エストロゲンは主に卵巣で産生されるが、閉経後は脂肪組織からの産生が中心となることも学んだ。

オブラートを使用体験も行った。オブラートとは、薬の苦味などを和らげ、飲みやすくするための半透明の薄いシートである。粉薬を包んで水で飲み込む。

日誌

日誌 06月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月20日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	がん患者の服薬指導において、どのような点を確認すべきか戸惑いがあり、十分な対応ができなかった。がんに対しては重い病気というイメージが強く、患者との関わり方や言葉選びにも慎重になり、指導が難しく感じた。現代では2人1人ががんになると言われており、身近な人たちががんになる可能性が高いことを改めて認識した。そのような現実を前に、複雑だからという理由で逃げるわけにはいかないと感じた。がんについて勉強していかなければならない。今回は、乳がんの患者さんだったため、まずは乳がんについて講義資料を復習していく。
添付資料	
薬剤師のコメント	ガン患者さんの服薬指導に限った話では無いんですがその病気がどんなものなのかを知ることって意外と大事かもしれませんね。 登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月21日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.8 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月21日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 06月21日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月21日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 06月22日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.8 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

日誌

日誌 06月22日 東邦大学 学籍番号(1021166) 氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

日誌

日誌 06月22日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 06月22日

東邦大学

学籍番号(1021166)

氏名(中崎 優奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	